

【評価概要】

1 評価対象事業 55 事業のうち、事業の必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要があることが判明した事業は、既に措置を講じた事業を含め、合計で 19 事業（34.5%）であった。

2 評価類型

（1） 目標を達成した事業（41 事業、74.5%）

① 引き続き適切に実施する必要がある事業 36 事業

② 廃止することとした事業 5 事業

（2） 目標を一部達成した事業（7 事業、12.7%）

① 目標達成のための手法の検討が必要であるが、引き続き適切に実施する事業 6 事業

② 廃止することとした事業 1 事業

（3） 目標を達成できなかった事業（7 事業、12.7%）

目標達成のための手法の検討、事業の廃止を含め見直す必要がある事業 7 事業

3 新規事業等

（1） 平成 20 年度新規事業 3 事業

（2） 平成 20 年度重点目標管理事業 5 事業